

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年12月21日
【四半期会計期間】	第5期第2四半期（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）
【会社名】	MS & ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
【英訳名】	MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 江頭 敏明
【本店の所在の場所】	東京都中央区八重洲一丁目3番7号
【電話番号】	03-6202-5270（大代表）
【事務連絡者氏名】	総務部課長 中川 宏之
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区八重洲一丁目3番7号
【電話番号】	03-6202-5270（大代表）
【事務連絡者氏名】	総務部課長 中川 宏之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年11月22日に提出いたしました第5期第2四半期（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 経理の状況

1 中間連結財務諸表

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
当中間連結会計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部 企業情報
 第4 経理の状況
 1 中間連結財務諸表

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 当中間連結会計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

(訂正前)

(単位：百万円)

	国内損害保険事業			国内生命保険事業	
	(三井住友海上)	(あいおいニッセイ同和損保)	(三井ダイレクト損保)	(三井住友海上あいおい生命)	(三井住友海上プライマリー生命)
売上高 (注1)					
外部顧客への売上高	649,079	551,043	17,447	149,066	188,110
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,757	5,056	△40	154	△555
計	666,836	556,099	17,407	149,221	187,555
セグメント利益又は損失 (△)	10,224	△15,710	605	3	8,973
セグメント資産	5,426,962	3,025,232	45,193	2,275,581	3,173,892
その他の項目					
減価償却費	9,526	5,794	326	1,044	331
のれんの償却額	—	—	—	—	—
利息及び配当金収入	51,458	28,811	86	16,781	163
支払利息	3,618	7	—	141	0
有価証券評価損	62,742	38,607	—	1,177	—
持分法投資利益又は損失 (△)	—	—	—	—	—
特別利益	1,860	1,217	—	0	—
(価格変動準備金戻入額)	(1,400)	(939)	(—)	(—)	(—)
特別損失	1,147	1,831	3	215	408
(固定資産処分損)	(791)	(1,133)	(0)	(6)	(2)
(減損損失)	(355)	(697)	(—)	(—)	(—)
税金費用	3,127	8,062	24	257	4,733
持分法適用会社への投資額	140,475	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	16,428	12,533	137	353	1,060

(単位：百万円)

	海外事業	その他 (注2)	合計	調整額 (注3、4、5)	中間連結財務諸表 計上額 (注6)
	(海外保険子会社)				
売上高 (注1)					
外部顧客への売上高	122,681	742	1,678,171	△465	1,677,706
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△22,618	545	299	△299	—
計	100,063	1,288	1,678,471	△765	1,677,706
セグメント利益又は 損失 (△)	10,544	270	14,910	△24,351	△9,440
セグメント資産	869,856	17,662	14,834,381	△453,630	14,380,751
その他の項目					
減価償却費	1,241	66	18,331	△167	18,164
のれんの償却額	—	—	—	3,030	3,030
利息及び配当金収入	10,086	36	107,423	△11,583	95,839
支払利息	26	42	3,836	△33	3,803
有価証券評価損	264	2	102,795	21,638	124,434
持分法投資利益又は 損失 (△)	1,638	205	1,844	△2,658	△813
特別利益	15	50	3,143	△667	2,475
(価格変動準備金 戻入額)	(—)	(—)	(2,340)	(△617)	(1,722)
特別損失	3	52	3,662	△611	3,050
(固定資産処分損)	(3)	(2)	(1,941)	(85)	(2,027)
(減損損失)	(—)	(—)	(1,052)	(△29)	(1,023)
税金費用	2,500	107	18,814	△4,240	14,573
持分法適用会社への 投資額	15	—	140,490	△8,102	132,388
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	830	650	31,993	—	31,993

(注) 1 売上高は、損害保険事業にあつては正味収入保険料、生命保険事業にあつては生命保険料、その他の事業にあつては経常収益、中間連結財務諸表計上額にあつては正味収入保険料及び生命保険料の合計の金額を記載しております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内保険会社以外のグループ会社が営む金融サービス事業及びリスク関連サービス事業並びに報告セグメントに含まれない国内損害保険子会社が営む国内損害保険事業であります。

3 外部顧客への売上高の調整額は、その他の事業に係る経常収益の調整額であります。

4 セグメント利益又は損失の調整額には、国内保険子会社に対するパーチェス法適用に係る損益の調整額△14,002百万円、のれんの償却額△3,030百万円、持分法適用会社に係るのれんの償却額(持分法投資損益)△2,658百万円、セグメント間取引消去△3,052百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,526百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

5 セグメント資産の調整額には、国内保険子会社に対するパーチェス法適用に係る資産の調整額52,081百万円、各報告セグメントに配分していないのれんの未償却残高の調整額等36,274百万円、セグメント間取引消去△354,768百万円、海外保険子会社の資産に含まれる保険契約準備金を負債のうちの保険契約準備金と相殺して表示したことによる振替額△180,809百万円、各報告セグメントに配分していない持分法適用会社への持分法適用による調整額△8,102百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産1,194百万円を含んでおります。全社資産は、報告セグメントに帰属しない当社に係る資産であります。

6 セグメント利益又は損失は、中間連結財務諸表の中間純損失と調整を行っております。

(訂正後)

(単位：百万円)

	国内損害保険事業			国内生命保険事業	
	(三井住友海上)	(あいおいニッセイ同和損保)	(三井ダイレクト損保)	(三井住友海上あいおい生命)	(三井住友海上プライマリー生命)
売上高 (注1)					
外部顧客への売上高	649,079	551,043	17,447	149,066	188,110
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,757	5,056	△40	154	△555
計	666,836	556,099	17,407	149,221	187,555
セグメント利益又は損失 (△)	10,224	△15,710	605	3	8,973
セグメント資産	5,426,962	3,025,232	45,193	2,275,581	3,173,892
その他の項目					
減価償却費	9,526	5,794	326	1,044	331
のれんの償却額	—	—	—	—	—
利息及び配当金収入	51,458	28,811	86	16,781	163
支払利息	3,618	7	—	141	0
有価証券評価損	62,742	38,607	—	1,177	—
持分法投資利益又は損失 (△)	—	—	—	—	—
特別利益	1,860	1,217	—	0	—
(価格変動準備金戻入額)	(1,400)	(939)	(—)	(—)	(—)
特別損失	1,147	1,831	3	215	408
(固定資産処分損)	(791)	(1,133)	(0)	(6)	(2)
(減損損失)	(355)	(697)	(—)	(—)	(—)
税金費用	3,127	8,062	24	257	4,733
持分法適用会社への投資額	140,475	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	16,428	12,533	137	353	1,060

(単位：百万円)

	海外事業	その他 (注2)	合計	調整額 (注3、4、5)	中間連結財務諸表 計上額 (注6)
	(海外保険子会社)				
売上高 (注1)					
外部顧客への売上高	122,681	742	1,678,171	△465	1,677,706
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△22,618	545	299	△299	—
計	100,063	1,288	1,678,471	△765	1,677,706
セグメント利益又は 損失 (△)	10,544	270	14,910	△24,351	△9,440
セグメント資産	869,856	17,662	14,834,381	△453,630	14,380,751
その他の項目					
減価償却費	1,241	66	18,331	△167	18,164
のれんの償却額	—	—	—	3,030	3,030
利息及び配当金収入	<u>6,502</u>	36	<u>103,839</u>	<u>△8,000</u>	95,839
支払利息	26	42	3,836	△33	3,803
有価証券評価損	264	2	102,795	21,638	124,434
持分法投資利益又は 損失 (△)	1,638	205	1,844	△2,658	△813
特別利益	15	50	3,143	△667	2,475
(価格変動準備金 戻入額)	(—)	(—)	(2,340)	(△617)	(1,722)
特別損失	3	52	3,662	△611	3,050
(固定資産処分損)	(3)	(2)	(1,941)	(85)	(2,027)
(減損損失)	(—)	(—)	(1,052)	(△29)	(1,023)
税金費用	2,500	107	18,814	△4,240	14,573
持分法適用会社への 投資額	15	—	140,490	△8,102	132,388
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	830	650	31,993	—	31,993

(注) 1 売上高は、損害保険事業にあつては正味収入保険料、生命保険事業にあつては生命保険料、その他の事業にあつては経常収益、中間連結財務諸表計上額にあつては正味収入保険料及び生命保険料の合計の金額を記載しております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内保険会社以外のグループ会社が営む金融サービス事業及びリスク関連サービス事業並びに報告セグメントに含まれない国内損害保険子会社が営む国内損害保険事業であります。

3 外部顧客への売上高の調整額は、その他の事業に係る経常収益の調整額であります。

4 セグメント利益又は損失の調整額には、国内保険子会社に対するパーチェス法適用に係る損益の調整額△14,002百万円、のれんの償却額△3,030百万円、持分法適用会社に係るのれんの償却額(持分法投資損益)△2,658百万円、セグメント間取引消去△3,052百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,526百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

5 セグメント資産の調整額には、国内保険子会社に対するパーチェス法適用に係る資産の調整額52,081百万円、各報告セグメントに配分していないのれんの未償却残高の調整額等36,274百万円、セグメント間取引消去△354,768百万円、海外保険子会社の資産に含まれる保険契約準備金を負債のうちの保険契約準備金と相殺して表示したことによる振替額△180,809百万円、各報告セグメントに配分していない持分法適用会社への持分法適用による調整額△8,102百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産1,194百万円を含んでおります。全社資産は、報告セグメントに帰属しない当社に係る資産であります。

6 セグメント利益又は損失は、中間連結財務諸表の中間純損失と調整を行っております。